

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	1	平和と人権を大切にすまちにします

施策	1	平和を実感できるまちにします	担当部(統括部)	市長公室
----	---	----------------	----------	------

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿

すべての市民が高い平和意識を持ち、日本のみならず、世界の平和に対しても深い関心を持っています。

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	平和月間を中心とした市民啓発の取り組みにたくさんの方が参加している	平和月間を中心とした市民啓発の取り組みにたくさんの方が参加している	平和月間を中心とした市民啓発の取り組みにたくさんの方が参加している	平和月間を中心とした市民啓発の取り組みにたくさんの方が参加している	市民一人ひとりが高い平和意識を持っている	市民一人ひとりが主体的に平和への行動に取り組んでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					

子どもたちが、命の尊さ、平和の大切さを理解し、国や文化の違いを認め、他国の子どもたちとともに学んでいます。

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	子どもたちが、命の尊さについて理解し、平和の大切さについて実感できるよう理解をしている	子どもたちは、命の尊さ、平和の大切さを理解し、自分の意見を言えるようになっている	ほとんどの子どもたちが、国や文化の違いを認めたうえで平和の大切さを理解している	ほとんどの子どもたちが、国や文化の違いを認めたうえで平和の大切さを理解している	ほとんどの子どもたちが、命の尊さ、平和の大切さを理解し、国や文化の違いを認め、他国の子どもたちとともに学んでいる	すべての子どもたちが、命の尊さ、平和の大切さを理解し、国や文化の違いを認め、他国の子どもたちとともに学んでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					
目標	子ども達が発達段階に応じて、平和と人権を大切にすま心に育んでいる	子ども達が発達段階に応じて、平和と人権を大切にすま心に育んでいる	子ども達が発達段階に応じて、平和と人権を大切にすま心に育んでいる	子ども達が発達段階に応じて、平和と人権を大切にすま心に育んでいる	平和と人権を大切にすま大勢の子どもたちが育っている	子ども達が、国際社会の一員として、人権を尊重し、平和な社会に貢献できる力を身につけている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
平和黙禱に協力している事業所の数	目標	—	—	—	—	924	950	950	950	950	1,000
	実績	576	530	518	814	897					
国際理解教育に関する社会人講師活用時間	目標	—	—	—	—	420時間	420時間	425時間	425時間	430時間	448時間
	実績	420時間	407時間	433時間	415時間	438時間					

【施策の展開】◎は重点的な取り組み

◎平和意識の高揚	平成25年度事業費計 758千円
----------	---------------------

7・8月を平和月間と位置づけ、平和パネル展などの催しにより、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和に関する市民の取り組みを促進します。

平成25年度事業		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
平和イベント開催事業758千円(人権女性政策課)		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	平和パネル展を文化ホール展示室、安威川公民館にて開催	平和パネル展の内容を精査し、開催会場をコミュニティプラザに変更実施	平和パネル展の内容の工夫に努め、コミュニティプラザでの開催を継続実施	平和パネル展の内容・開催箇所の拡充を検討	平和パネル展の複数箇所での開催	平和パネル展の複数箇所での開催	
取組実績	平和パネル展を文化ホール展示室にて実施し、311人の参加があった。また、安威川公民館でも同様の展示を行った。						
成果	平和パネル展については、イベント集客者が中心ではあったが、多くの市民に対する啓発の機会となった。また、安威川公民館でも実施されたことにより、啓発機会の拡充に繋がった。						
次年度課題	文化ホール展示室の場所が分かりにくく、行事以外の一般来場者が少ない。より多くの市民に見ていただけるよう、開催場所の変更検討が課題である。						

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	平和イベントとして映画会を開催	家族で平和について考える機会とするために子ども劇団による演劇を開催	開催趣旨に多数の賛同を得られたことから、継続実施とし、かつ摂津市オリジナルの作品づくりを目指す	平和イベントの内容を検討・実施	平和イベントの内容を検討・実施	平和イベントの内容を検討・実施
取組実績	ハンセン病に対する正しい認識の啓発を目的に大人向け映画「ふたたび」を上映。また、友情と困難に立ち向かう勇気をテーマに子ども向け映画「ヒックとドラゴン」を上映し、延べ444人の参加があった。					
成果	アンケート結果による参加した市民の満足度は高く、啓発の機会となった。					
次年度課題	配給元の事情もあり、平和の趣旨に沿った題材の選択が困難である。また、地域の公民館でも映画会を実施していること、大人向け・子ども向けと対象者を分けて実施してきたこと等、費用対効果の視点から事業内容全体の見直しが必要である。					
計画	平和イベントに協賛する市内公共施設が平和映画会を開催	平和イベントに協賛する市内公共施設が平和映画会を開催	平和イベントに協賛し、市内公共施設が主体となる各種事業を実施	平和イベントに協賛する市内公共施設が平和映画会を開催	平和イベントに協賛する市内公共施設が平和映画会を開催	平和イベントに協賛する市内公共施設が平和映画会を開催
取組実績	市内公民館全館が協賛事業としてピース映画会を実施した。					
成果	公民館の事業を通じて平和に関する意識喚起ができた。					
次年度課題	公民館との連携の在り方が課題である。平和月間協賛事業として公民館が主体となり事業提案をいただけるよう情報交換の機会が必要である。					
計画	平和イベント各会場内の折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内の折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内の折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内の折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内の折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内の折鶴コーナーの設置
取組実績	平和イベント会場内他公共施設において折鶴コーナーを設置した。					
成果	折鶴に込めた市民の思いを平和に関する意識喚起に繋ぐことができた。					
次年度課題	市民の皆さんに折っていたいたいた折り鶴が広島・長崎の平和祈念式典や平和公園の祈る子像に捧げられていることなど、思いが繋がっていることを積極的にPRするよう工夫が必要である。					
計画	平和黙とうの依頼先(事業所)の精査	平和黙とう依頼先の精査に努め、市・市立施設・市内事業所において平和黙とうを実施。	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施
取組実績	平和黙とうの依頼先(事業所)について、事業所ネットの確認、所在調査等を実施。小規模(4人以下)の事業所については個人扱いとするなど、平和黙とうの依頼先(事業所)を精査した。					
成果	平和黙とうの実施協力を市内事業所897箇所に依頼することができた。					
次年度課題	依頼した事業所の平和黙とう実施状況の把握のため、数年単位のアンケート調査の実施等が課題である。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画			平和都市宣言30周年記念事業の実施			
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎平和宣言都市の実践	平成25年度事業費計 758千円
------------	---------------------

平和市長会議の加盟都市として、「平和都市宣言」の精神を実践し、他の加盟都市と連携しながら核廃絶を訴えます。

平成25年度事業		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
平和イベント開催事業758千円(人権女性政策課)		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	長崎の原爆祈念式典に参列	広島の前爆祈念式典に参列	広島・長崎の原爆祈念式典に参列	広島・長崎の原爆祈念式典に参列	広島・長崎の原爆祈念式典に参列	広島・長崎の原爆祈念式典に参列	広島・長崎の原爆祈念式典に参列
取組実績	世界人権宣言撰津連絡会議加盟団体より1人が参加した。						
成果	被爆地での式典に参加することで、より一層非核平和への意識喚起ができ、世界人権宣言撰津連絡会議の今後の活動に繋ぐことができた。						
次年度課題	市民参加の在り方について、今後世界人権宣言撰津連絡会議と協議を進める必要がある。						
計画	第1回平和市長会議国内加盟都市会議に出席	平和市長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和都市宣言30周年事業の実施	平和市長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和市長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和市長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和市長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信
取組実績	国内初の首長による平和市長会議に参加した。						
成果	非核平和について、国内が一枚岩になり、世界に発信していくことの必要性が確認できた。また、国内の市町村長が参画しやすい環境整備のため「平和市長会議」を「平和首長会議」とすることを撰津市長が提案し、全会一致で採択された。						
次年度課題	平和市長会議の活動を市民にどのように周知するかが課題である。						
計画	3団体の平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援
取組実績	平和行進の受け入れを実施(3団体)した。						
成果	様々な立場の平和に対する思いを受け止め、次に繋げるための支援ができた。						
次年度課題	継続した実施が必要である。						

◎平和学習の推進	平成25年度事業費計
	9,335千円

幼稚園・小中学校において、子どもの発達段階に応じた平和学習を行います。

平成25年度事業	国際理解教育推進事業9,335千円(教育政策課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施
取組実績	全校で人権教育計画の中に平和教育の計画が位置付けられ、学校イントラネットに掲載された。					
成果	他校の平和教育計画を容易に閲覧できる環境が整ったことにより、情報共有を図ることができた。					
次年度課題	引き続き、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりを検討していく必要がある。					
計画	小中学校の平和教育の内容と系統性についての点検と論議	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの完成	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの実践と深化
取組実績	各校で平和教育の内容について点検・論議を行った。					
成果	中学校区の中小合同での点検・論議には至らなかった。					
次年度課題	小中学校での平和学習の系統性について論議する場の設定が必要である。					
計画	系統性のある平和学習を作成するための教員研修の検討	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催
取組実績	平和教育カリキュラム作成研修の実施には至らなかった。					
成果	平和教育カリキュラム作成研修の実施には至らなかった。					
次年度課題	平和学習についての教職員研修を開催する必要がある。					

◎国際理解教育の推進	平成25年度事業費計
	9,335千円

自国の歴史や文化に誇りを持ち、外国の多様な文化を認め合う力を育てるため、子どもの発達段階に応じた国際理解教育を推進します。

平成25年度事業	国際理解教育推進事業9,335千円(教育政策課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	各校で国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施
取組実績	全校で人権教育計画の中に国際理解教育の計画が位置付けられ、学校イントラネットに掲載された。					
成果	他校の国際理解教育計画を容易に閲覧できる環境が整ったことにより、情報共有を図ることができた。					
次年度課題	引き続き、国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりについて検討を行っていく必要がある。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	小中学校の国際理解教育の内容と系統性についての点検と論議	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの完成	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの実践と深化
取組実績	各校で国際理解教育の内容について点検・論議が行われた。					
成果	中学校区の小中合同での点検・論議には至らなかった。					
次年度課題	小中学校での国際理解教育の系統性について論議する場の設定が必要である。					
計画	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修の検討	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修開催
取組実績	国際理解教育カリキュラム作成研修の実施には至らなかった。					
成果	国際理解教育カリキュラム作成研修の実施には至らなかった。					
次年度課題	国際理解教育についての教職員研修を開催する必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

平和黙祷の実施		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
							平成25年度事業費計 758千円
市内各施設をはじめ、事業者などにも協力を要請し、原爆投下日に合わせて一斉に平和黙祷を行います。							
平成25年度事業	平和イベント開催事業758千円(人権女性政策課)						
計画	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施。また事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施。また事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施。また事業所については往復はがきによる依頼及び実施状況アンケートの返信を検討	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進
取組実績	市役所及び市内施設において、CDを使用した黙とうを実施した。また、897箇所の事業所に協力文書を送付・依頼した。						
成果	市民・市職員・ご協力いただいた事業所の方々に非核平和についての意識喚起を促す機会の提供ができた。						
次年度課題	依頼した事業所の平和黙とう実施状況の把握が課題である。						

平和学習の推進						平成25年度事業費計 9,335千円
広島への修学旅行や平和登校、不戦の日のつどいなどを中心に、小中学校において平和学習を行います。						
平成25年度事業	国際理解教育推進事業9,335千円(教育政策課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施
取組実績	全小学校の6年生の修学旅行で平和学習の総まとめとしての取組みが実施された。また、各校で全学年が参加する平和集会が開催された。					
成果	各校で、それぞれの学年の平和学習の取組み内容などについて、共有を図ることができた。					
次年度課題	中学校区ごとの小中学校が連携した平和学習の取組みを構築する必要がある。					

国際理解教育の推進						平成25年度事業費計 9,335千円
幼稚園・小中学校に在籍する外国籍の子どもたちなどの自覚や誇りを高め、また、日本人の子どもたちともにお互いを認め合い、ともに学ぶ意識を高める教育を進めます。						
平成25年度事業	国際理解教育推進事業9,335千円(教育政策課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	各校の国際理解教育を推進するため、講師を派遣	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進
取組実績	小中学校で合計447時間の時数、社会人講師を派遣し、各国の具体的な文化の紹介などが行われた。					
成果	児童生徒が各国の文化や特色について、実感を伴って理解することができた。					
次年度課題	日本語指導講師との具体的な連携の在り方について検討していく必要がある。					